

第5期夢育て・たちかわ子ども21プラン推進会議 要旨

会議名	夢育て・たちかわ子ども21プラン推進会議(第13回)
日時	令和7年5月14日(水)18時30分～20時30分
出席	金子恵、中嶋弥生、大橋暉弘、小畑くるみ、田野倉宏美、山口聡、樋口睦子、土方崇、秋山俊、平野静香、米原立将、景山千鶴子、小松佳世子、佐藤米子、水城優子、山中ゆう子、大口泰朗、坂下香澄、飯野心咲(委員名簿記載順・敬称略) [事務局]平川子ども政策課長、井田子ども政策係長、高野加藤保育課長、岡保育指導支援係長 [株式会社地域計画連合]相羽、青野
欠席	永田ゆかり、北島宏晃、伊東祐也、安部希美、鉤賢太郎、末平乙綺、佐藤蓮太郎、松村咲、(委員名簿記載順・敬称略)
配布資料	資料1 夢育て・たちかわ子ども21プラン推進会議委員名簿 資料2 家庭的保育室の概要、立川市の待機児童の状況(当日机上配布) 資料3-1 第5次夢育て・たちかわ子ども21プラン原案 資料3-2 素案の案(1月24日)から素案(3月4日)までの修正内容 資料3-3 プラン素案からの主な変更内容について 資料4 市民意見公募の実施状況と結果について 資料5-1 小学生向け 資料5-2 中高生向け 資料6-1 こどもとおとなのはなしあいin市議会議場チラシ(当日机上配布) 資料6-2 立川市子育て支援・保健センター「はぐくるりん」パンフレット (当日机上配布)
会議場所	立川市役所 302 会議室
1. 辞令交付 ・事務局代読により辞令交付があった。 立川市立小学校校長会 松中小学校 田野倉校長 立川市立中学校校長会 立川第一中学校 山口校長 2. 家庭的保育室の新設について (1) 事務局より、資料2に基づき、今年度新たに開設を予定している家庭的保育施設の概要と、開設予定地域での待機児童の状況について説明があった。 (2) 委員からの主な意見は以下のとおり。 ・Q 家庭的保育室を設置する際などには、立川版DBSのような基準を設けて認定しているのか。 ・A 保育におけるDBSについては、今、国で整備を進めている。雇用者は、新たに保育士を雇用する時に、性犯罪等を理由に保育士登録を取り消された過去があるかを確認する義務があり、市でも確認している。 ・男性保育士として、親御さんや地域の方がいろいろ心配をされることを改めて感じたとともに、そういうことがない仕組みを作っていかなければならないと改めて思った。制度だけではなく、性犯罪が	

起こりえないような保護者との関係づくり、施設内の研修等はその現場でも必要であると改めて認識した。

3. 第5次夢育で・たちかわ子ども21プラン原案について

(1) 事務局より、資料3-2に基づき、1月24日推進会議から3月4日厚生産業委員会までの修正、資料3-3に基づき、厚生産業委員会から5月14日推進会議までの修正について説明。2月14日に市長へ素案の答申を行ったことと、パブリックコメントを経て資料3-1として原案がまとまったことについて報告をした。

(2) 2月14日市長への答申に参加した委員の感想。

・初めて参加した。素案ができるまでのプロセスなども振り返りながら、これが形だけのものにならず具現化してほしい、期待しています、と市長へ話をさせていただいた。貴重な機会をいただきありがとうございました。

・行政だけではなく、市民と協働して実現していきましようとお話した。市長も子育て施策について大変前向きで、その熱意も感じられるので、これが実現していくのではないかと期待を持つことができた。

4. 市民意見公募(パブリックコメント)の実施状況と結果について

(1) 事務局より、資料4に基づき、プランの素案と子ども向け資料案の両方についてパブリックコメントを実施したことと、期間・公表場所等の実施状況、いただいた意見、市からの回答について説明があった。

(2) 委員からの主な意見は以下のとおり。

・プレーパークについての意見がたくさんあり良いなと思うのと、市の回答で「広報等の支援を行ってまいります」となっているのがとてもありがたいと思った。今、冒険遊び場の会たちかわで、月に1回プレーパークを開催しているが、なかなか参加を募るのが難しい。もっと参加者を増やすため、市に広報で協力いただけるとありがたい。

・Q 市として広報等の支援を行っていますということだが、具体的にしていることはあるのか。

・A 冒険遊び場の会たちかわ作成のチラシを配布している。ホームページは、他のイベントとタイアップしたときに、そのイベントと合わせて周知している。

・ひとり親支援の拡充の中の意見で、東京グローバルゲートウェイやPLAY!PARKの記載があったが、冒険遊び場の会で開催するプレーパークは無料。立川プレーパークで検索すると、有料のものしか出てこない。必要な人に必要な情報を届けるためにも、開催状況を市のホームページに固定のページとして載せておけば、検索したときにヒットしやすくなるので検討いただきたい。

5. 第5次夢育で・たちかわ子ども21プラン(小学生向け・中高生向け)について

(1) 事務局より、資料5-1、5-2に基づき、「子ども向け」としてパブリックコメントを実施した案を、さらに「小学生向け」「中高生向け」として作成しなおした経緯及び内容について説明。

(2) 委員からの主な意見は以下のとおり。

・「誰のためのものなの?」のところに、立川市在学、在勤している人も対象に入れたほうが良い。

・字体が教科書体で、固いイメージを持ってしまう。

・小学生向け、中高生向けは、フリガナの有無だけでなく内容も年齢に合わせて変更したほうが良い。

- ・小学生向けは、絵で読み取れるようなものや、くるりんなどキャラクターが入っていても良いのでは。
- ・小学生向けの方は、少し言い回しが難しいと感じた。「意見をもらいました」ではなく「意見を聞きました」など、少し柔らかい表現にするだけで、小学生でも読みやすくなると思う。小学生向け・中高生向けどちらも共通として、ヤングケアラーのところは、ヤングケアラーとは何かを表記した方がよい。「立川市が取り組んでいくこと」では、4次にこういうことをしたという具体的な取組の名前や内容等を入れたら分かりやすくなると思う。「こんな意見がありました」では、両方で同じ内容が書かれているが、アンケートでは小学5年生と中高生の意見では異なっていたので、小学生向けは小学生が回答した意見、中高生向けは中高生の意見というように分けた方が、もっと共感を得られると思う。
- ・最終ページにある「知って、守ろう！子どもの権利」の内容が、小学生にとっては難しすぎる。小学生向けと中高生向けが全く同じ表現になっているが、内容自体が難しいところだから、こういうところでそのまま載せるのではなく、小学生のみんなに分かるように伝えられると良いと思う。
- ・もう少し興味を惹きつける表紙に工夫したほうがよい。こんな意見がありましたという子どもの声が吹き出していくつかあると、興味を持って開いてもらえるかもしれない。LINE風に吹き出しが並んでいるなど、もう少し工夫できるのではないかな。意向調査でリアルな回答があったので、表紙にこうだったらいいなという意見をいくつか載せると興味を持ってもらえると思う。
- ・この内容を誰に届けたいのかというと、やはり子ども達。自分たちはこんな権利があって守られるべき存在なのだとすることを、子ども自身が知るべきで、大人はそれを届けるべき。だからこそ届け方は大切で、渡したから見てね、では届かない部分がある。子どもに届けるために、権利についての動画を作成して、授業の中で一斉に見せることは可能か。子ども達が確実に知ることができる機会を学校内で設けることはできるのか。
- ・小学校では学習の中で「子どもの権利」や「子どもの権利条約」も全く取り扱っていないわけではない。5年生から学習が始まり、6年生で本格的に勉強する内容に入っている。ただ確実に全校で扱うには、準備のための時間が必要。やらないというわけではなく、状況や環境を整えるために時間がかかるかもしれない。
- ・中学校では、全校集会や朝礼の時間を使い、動画を流して情報を届けることは可能だと思う。
- ・すぐにできるということもあるかと思う。市で動画を作成し、一斉に届けることもできるのではないかな。あなたが住んでいるまちであなたのことを応援しているよ、ということが届けられる一つになれば良いと思う。

(事務局より)

- ・小学生向け、中高生向けは、プラン本体が正式に決定して以降の配布になるため、いただいた意見を取り入れられるよう修正案を考えていく。

6. その他

- ・資料6-1 9月7日開催の「こどもとおとなのほなしいin市議会議場」について、事務局より説明。
- ・資料6-2 立川市子育て支援・保健センター「はぐくるりん」について、事務局より説明。
5月1日「はぐくるりん」の開所式に推進会議を代表として出席した山中会長より、参加して感じたことや市民が提案した重点プロジェクトの1つである児童発達支援センターの実現について共有。
- ・次回、推進会議 7月9日を予定。

以上

